

木型 10



主査 設楽 孝吉先生
(日本木型工業会)

「木型」はものづくりの原点です。この技術は、江戸時代の末期、船舶鑄造の金型加工用モデルに始まり、様々な技術の変遷を経て今日に至ります。近年では、「型」の多様化により、鑄造用に限らず、加工用モデル、デザインモデル、計測用治具など多岐に活用され、その素材も、厳しい寸法精度やNC加工などに対応するために、天然木材のほか、合成樹脂、また、金属との併用も盛んです。競技時間は、2日間の計10時間（標準時間）です。

競技全体風景



works

